

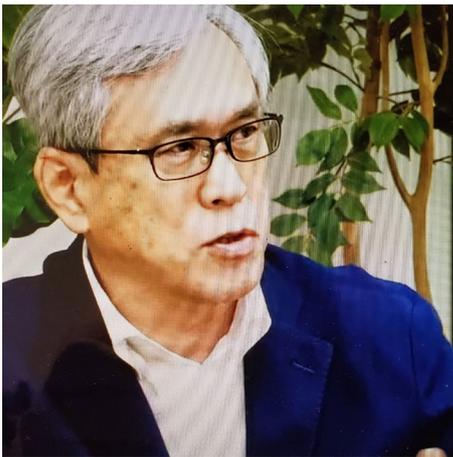
謎だらけの長崎原爆

～原爆はなぜ、神の聖地に投下されたのか～

長崎への原爆投下は、広島に比べてわからないことがたくさんある。謎だらけの原爆と言ってもいい。原爆投下チームの出発から帰還までの全行程を検証し、神の聖地浦上に落とされた理由と、長崎原爆の教訓を考える。

2025/ **10** / **4** (土) 13:30-15:00

浦上キリシタン資料館 コミュニティスペース(長崎市平和町 11-19)



高瀬 毅 (たかせ・つよし) ジャーナリスト、ノンフィクション作家。主に戦争、原爆と継承をテーマに取材・言論活動を行う。1955年長崎市生まれ。被爆2世(父・入市被爆、母・直接被爆)。明治大学政治経済学部卒業後、ニッポン放送で記者、ディレクター。82年ラジオドキュメンタリー「通り魔の恐怖」で日本民間放送連盟賞最優秀賞。89年にフリー。著書に『ナガサキ 消えたもう一つの「原爆ドーム」』(平凡社・のち文春文庫)で平和・協同ジャーナリスト基金賞奨励賞。『ブラボー 隠されたビキニ水爆実験の真実』(平凡社)、『本の声を聴け』(文藝春秋)、等多数。雑誌「AERA」で40人の著名人の人物ドキュメントを書いてきた。現在、YOUTUBEチャンネル「デモクラシータイムス」MC。同チャンネルで政治学者白井聡氏と対論する「ニッポンの正体」を書籍化した『ニッポンの正体』(河出書房新社)のシリーズ第3弾を25

年2月刊行。6月『長崎偉人伝 今里廣記』(長崎文献社)、7月『「ナガサキ」を生きる』(亜紀書房)出版。NGO「ピースポート」講師として7度乗船。マーシャル諸島、タヒチ諸島、オーストラリアの核実験被曝を取材。2019年南京大虐殺について中国・南京市を取材。

新刊販売します→



◆主催:NPO法人 アジェンダ NOVA ながさき ◆参加費:500円 ◆定員:30名(先着順)

◆申し込み:浦上キリシタン資料館へ電話・FAX・メールでご予約ください。
TEL&FAX:095-807-5646 urakamicm@mx.a.cncm.ne.jp